



福島空港 公園づくり

第4号

かわらばん

Fukushima Airport

平成27年6月9日発行

福島空港公園運営検討委員会事務局

第3回 福島空港公園運営検討委員会 開催

●第3回福島空港公園運営検討委員会

昨年11月に福島空港公園運営検討委員会を設置し、「福島空港公園の目指すべき方向性」、「福島空港公園の目指すべき公園像」と2回に渡り検討してきましたが、平成27年3月今回の本年度、最後の検討委員会では、ニーズ調査の分析を踏まえ、改めて「福島空港公園の公園像」について、意見交換を行いました。

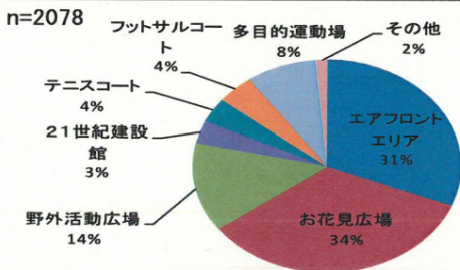
■ニーズ調査結果

●地元アンケート調査結果

調査概要

- 平成27年1月に、須賀川市・玉川村の幼稚園・小学校・中学校経由で保護者にアンケート調査票を2,035票配付し、1,229票回収（回収率60.4%）
- 配付幼稚園・学校
【須賀川市】和田・稲田幼稚園、大東・阿武隈小学校、第一・第三中学校
【玉川村】いずみ・すがま幼稚園、玉川第一・川辺・須釜小学校、泉・須釜中学校

問 どの施設を利用したか

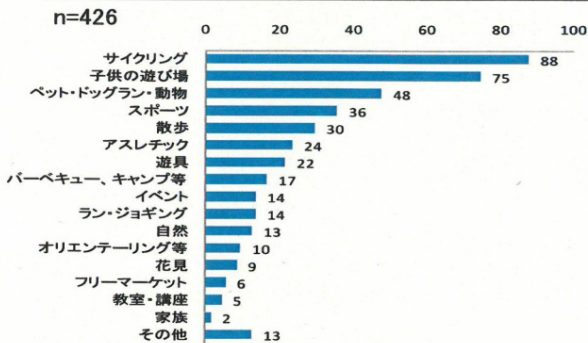


※お花見広場(地球科学エリア)についてエアフロントエリアにもお花見できる広場があるため、利用状況を踏まえ一部はエアフロントエリアと考えられる。

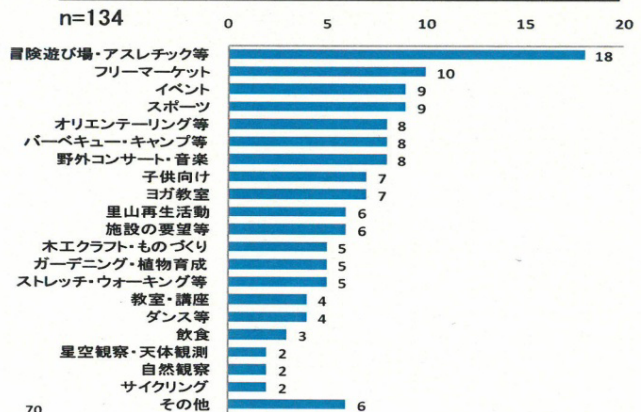
【参考】H25 利用者数の分布 n=415,985人



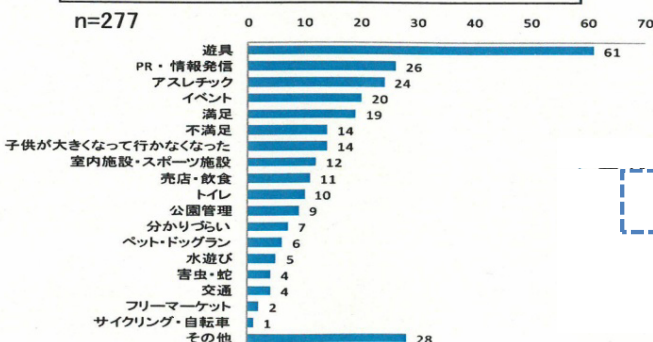
問 ゲストとしてやってみたいこと(回答を分類)



問 ホストとしてやってみたいこと(回答を分類)



自由意見(分類したもの)



子供と一緒に遊びたいというニーズが多い。

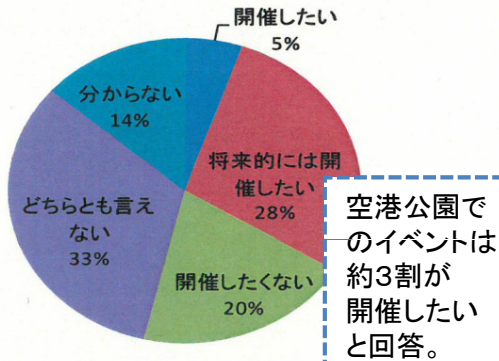
●NPOへのアンケート調査結果

調査概要

● 平成26年12月に、うつくしまNPOネットワークに協力いただき、福島県内の801団体にアンケート票を郵送配布し、96票回収（回収率12%）

問 空港公園でのイベント開催意志

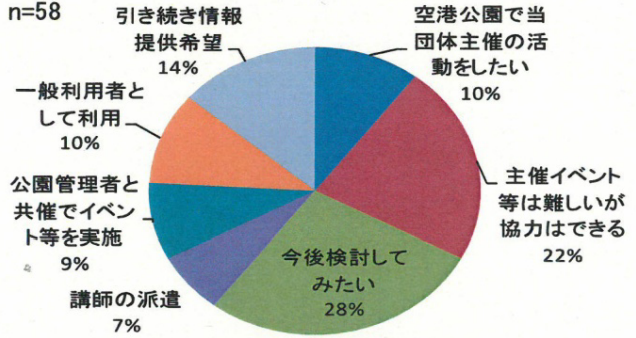
n=95



空港公園でのイベントは約3割が開催したいと回答。

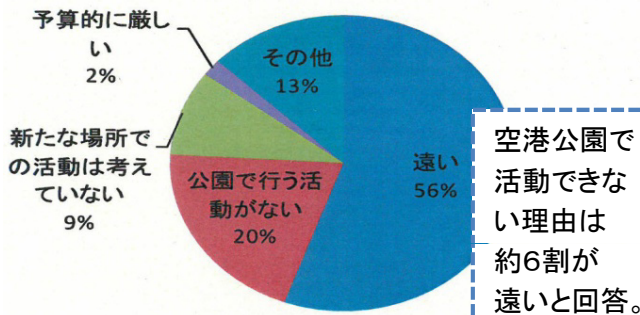
問 イベント開催時の関わり方

n=58



問 空港公園で活動できない理由

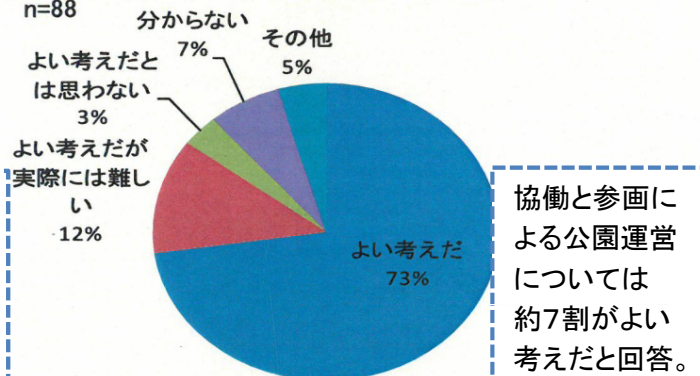
n=54



空港公園で活動できない理由は約6割が遠いと回答。

問 管理運営の考え方の評価

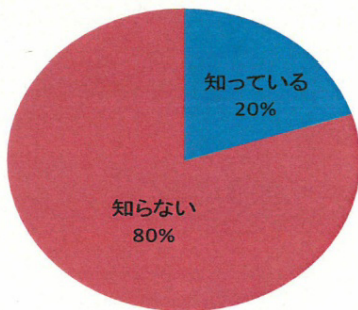
n=88



協働と参画による公園運営については約7割がよい考えだと回答。

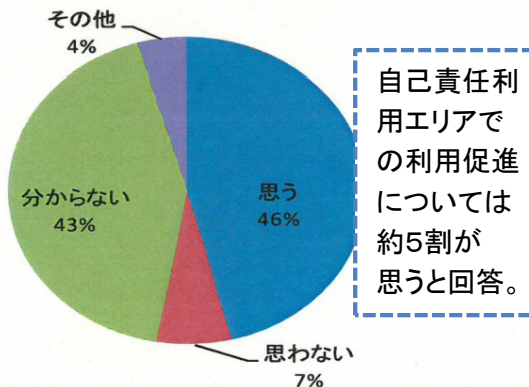
問 パークマネジメントの認知度

n=90



問 自己責任利用エリアがあれば利用促進されるか

n=89



自己責任利用エリアでの利用促進については約5割が思うと回答。

○意見の総括

- ①福島空港公園は飛行機と自然環境を体験できる公園で、いろいろな方々の支えがあって県民がたのしめる公園。
- ②地元産業、住んでいる方、NPOなどが活動しながら輝ける公園。
- ③マイパーク、マイ空港、地元が元気になれば、空港も元気になる。
- ④課題は、公園名を分かりやすくする、そして情報発信をどのようにしていくのか。など

●事務局だより

『福島空港公園づくり』は、福島空港公園を地域活動やNPO活動など多様なニーズの活動の場として活用するための仕組みづくり、魅力ある公園としてどう活用していくか、などについて取り組んでいくものですが、本年度は、ニーズ調査や委員の皆様それぞれの立場からの意見を伺い、福島空港公園への思いとあわせ、「公園づくり」への期待が感じられました。

さて来年度は、さまざまな「試行」を通して、仕組みづくり本格化します。委員の皆様、大変ですが引き続きよろしくお願ひします。